

選抜方法及び試験科目

入試制度	選抜方法
一般入試	筆記試験（下記の筆記試験科目表を参照）、口述試験、出身学校の成績等により選抜。
社会人特別選抜入試	【博士前期課程】 書類選考（研究計画書）、口述試験（研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答等）により選抜。 【博士後期課程】 書類選考（研究業績書及び研究計画書）、口述試験（研究業績書及び研究計画書に基づく内容、研究計画に関するプレゼンテーション及び専門知識に関する質疑応答等）により選抜。

一般入試 筆記試験科目表（筆記試験の他、口述試験を実施）

博士前期課程

専攻	外国語	専 門 科 目	
		必修科目	選択科目
農芸化学	英語	生物化学 （分子生物学、細胞生物学の内容を含む）	無機化学、有機化学 のうちから1科目を選択する。
醸造学	英語	生物化学 （微生物に関すること）	—
食品安全健康学	英語	生物化学 （分子生物学・有機化学・分析化学の内容を含む）	生体分析科学、リスク評価学、食品開発学、生理活性物質学、生理機能学、生体環境解析学 のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。
食品栄養学	英語	食品栄養学 （食品生化学、フードシステム管理学、調理科学、栄養生理学、保健栄養学、臨床栄養学の内容を含む）	—

博士後期課程

専攻	外国語	専 門 科 目
農芸化学	英語	土壌肥科学、植物生産化学、栄養生化学、生物有機化学、応用微生物学、食料資源理化学 のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
醸造学	英語	醸造微生物学、微生物工学、酒類生産科学、発酵食品化学、調味食品科学、醸造環境科学 のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連した1科目を選択する。
食品安全健康学	英語	生体分析科学、リスク評価学、食品開発学、生理活性物質学、生理機能学、生体環境解析学、ケミカルトキシコロジー のうちから入学後専修を希望する1科目を選択する。
食品栄養学	英語	臨床栄養学、保健栄養学、栄養生理学、食品生化学、フードシステム管理学、調理科学 のうちから入学後専修を希望する研究指導分野に関連する1科目を選択する。